

# 日中関係の変化 -その背景にあるものをさぐる-

愛知大学国際中国学研究センター・愛知大学国際問題研究所共催

企画責任者 顧令儀（愛知大学国際中国学研究センター-ICCS研究員）

## □背景

日中関係は二国間の関係のみならず、両国を含む東アジア、そして世界の経済活動とも連動し、その影響はますます大きくなっている。しかし日中両国の関係はその歴史的背景により様々な問題を抱えている。近年では一層、緊張度が増し、尖閣諸島をめぐる領土問題では未だその解決策が見いだせない状況である。

## □目的

本ワークショップでは日中関係の変化をテーマとして、その背景にある政治、外交、歴史認識、中国における教育状況、経済関係について多角的な視点から現在の状況を理解し、考えていくことを目的とする。

## □発表者

清末期日中関係における日本人教習とその位置  
野口 武 愛知大学中国研究科博士後期課程

領土問題から見る日中関係の新展開  
郭 鑫 北京大学歴史系研究員

周恩来のアフリカ訪問と、フランスの中共承認に  
対する日本と国府の反応  
村上 享二 愛知大学中国研究科博士後期課程

中国高校教学中的“中日関係”  
杜 晓燕 西安交通大学人文学院

中国を中心とした東アジア地域国際分業の進展  
-2005年アジア国際産業連関表の推計を通じて-  
陳 延天 中部圏社会経済研究所